

活動報告書

報告日付:2020年4月15日

事業ID:2017455682

事業名宮崎県宮崎市における第三の
居場所の運営(1年目)

団体名:(一社)日本プレミアム能力開発協会

事業完了日:2018年3月31日

1.事業内容

第三の居場所の運営

(1)期間:2018年1月~2018年3月

(2)場所:宮崎県宮崎市

(3)内容:「第三の居場所」をつくり、そこで社会的相続を補完するため、拠点には専門スタッフを配置し、子ども達の生活習慣形成や非認知能力・学習意欲向上を図る。

2.事業内容詳細:

対象学校の児童生徒に放課後から夜21時までの間、安心して安全に過ごすことのできる居場所を提供し、宿題の補助や読み聞かせ、体験プログラムによって学習支援を行いながら、ニーズに応じて食事を提供し、歯磨き、入浴に関する生活習慣の形成をサポートした。また、学校や行政等各種関係団体とのケース会議に参加した他、保護者への相談援助業務を行うことによって子ども達が安心して過ごせる「第三の居場所」外における育成環境の醸成にも寄与した。

3.契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

- 1.拠点利用児童の募集
- 2.児童への居場所・読み聞かせ、学習支援・食事の提供
- 3.保護者、地域、行政との関係構築
- 4.全国展開に耐えうる事業モデルの構築

【目標の達成状況】

- 1.行政と協力して拠点利用児童の募集を行った。
- 2.全開所日において実施した。食事の提供については児童と保護者の世帯ごとのニーズに応じた対応をとった。

3.保護者との関係性:

- ・日々のお迎え時のコミュニケーションを行い、その日の子どもの様子の報告をした。
- ・最初のころは1世帯のみだったので母親も一緒に夕食を食べることもあり、そこで信頼関係を作り相談事をしてくれるようになった。

地域との関係性:内覧会を開き、地域の皆さんに拠点の事業趣旨等を説明し、見学をしてもらうことによって子ども集めに協力してもらえようをお願いをした。

行政との関係性:各関係者に見学に来てもらい、拠点の趣旨を説明したうえで子ども集めに協力してもらえようをお願いをした。

- 4.地域や行政との繋がりを重視しつつ、社会的相続を補完するための知見を蓄積し、他拠点にも展開できる仕組みを採用した。
5. その他 特になし。